

今日の教員に期待される資質、能力とは何か
—2010年代における地方自治体の求める教員像の比較、検討より—

芦田愛五・遠藤健治

美作大学・美作大学短期大学部紀要（通巻第66号抜刷）

今日の教員に期待される資質、能力とは何か — 2010年代における地方自治体の求める教員像の比較、検討より — Qualifications and Abilities Expected of Elementary School Teachers by Local Governments in the 2010s

芦田 愛五・遠藤 健治

はじめに

本稿の目的は、2010年代における地方自治体（都道府県および指定都市）が求める教員像を比較、検討することにより、これまで教員にはいかなる資質、能力が求められてきたのか。そして、それはいかに変化したのかを解明することにより、今日の教員に求められる資質、能力を探ることにある。

すでに地方自治体が求める教員像を対象として、今日的な教員の具えるべき資質、能力を探る研究は数多く認められる。進藤正洋ほか「教育行政が求める『教員の資質能力』について——京都、大阪、兵庫における府県および政令指定都市教育委員会の場合——」（関西国際大学編『教育総合研究叢書』3、2010年）、石村卓也「求められる教員の資質能力と地域特性——都道府県教育委員会及び指定都市教育委員会等が求めている教員の資質能力に焦点——」（『大和大学研究紀要』1、2015年）、児玉祥一「求められる教師と理想の教師像——同志社・京都教育大学教職大学院での教職の授業を通して——」（『同志社大学教職課程年報』5、2015年）、小孫康平「教育委員会が求める教員像の計量テキスト分析——教育方法的観点から——」（『皇学館大学紀要』56、2018年）、津村敏雄『『教員に求められる資質能力』の考察——地方自治体の「求める教師像」から読み解く——』（『東洋学園大学教職課程年報』1、2019年）などは、その好例である。いずれも、中央教育審議会答申を読み解き、それと地方自治体が求める教員像を比較、検討することにより、そしてテキストマイニングの手法を用いる、あるいは特定地域の自治体を対象とするなどして、教員に求められる資質、能力を解明したという意味において貴重な研究である。もっとも、たとえば小孫が2010年を事例としているように、津村が2018年を事例としているように、そうじてある特定の時点において教員に求められる資質、能力を解明するにとどまっているのもまた事実であろう。ただし、教員に求められる資質、能力は、時間の流れとともに刻一刻と変化してきているはずである。

そこで、本稿は、そうした問題意識のもと、うえの先行研究に学びながら、「教員に求められる資質、能力は、時間の経過とともにいかに変化したのか」という視点をもって、とくに2010年と2019年を事例として、地方自治体が求める教員像を比較、検討することにより、今日の教員に求められる資質、能力とは何かを探っていきたい。

キーワード：地方自治体の求める教員像、2010年代における小学校教員に求められる資質、能力の変化

1. 中央教育審議会答申にみる今日の教員に期待される資質、能力

本章においては、うへの課題を解明するにさき立ち、2010年代の教員の資質、能力に関わる方向性を決定づけた「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」および「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」という二つの中央教育審議会答申に注目し、今日の教員に期待される資質、能力をめぐる動向を押さえていこう。

1-1. 「学び続ける教員像の確立」を求めた2012年中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」

まず、2012年中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」をみることにしよう。これは、「学び続ける教員像の確立」を求めたという意味において、今日の教員に期待される資質、能力を探るうえで重要である。同答申は、まず現代社会においてグローバル化や情報化、少子高齢化などの社会の急激な変化に伴い、高度化、複雑化する諸課題への対応が可能な人材の育成が急務であると指摘する¹。そうして求められる人材育成像の変化に伴い、学校教育においては、基礎的、基本的な知識、技能の習得に加え、思考力、判断力、表現力などの育成や学習意欲の向上、多様な人間関係を結んでいく力を育成する必要があると述べる²。また、いじめ、暴力行為、不登校などへの対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、ICTの活用といった学校現場における諸課題に対応するためには、教員が専門的知識、技能を向上させ、マネジメント力を有する校長のリーダーシップのもと、地域の力を活用しながら、チーム学校の一員として組織的かつ効果的な対応を行う必要があると述べる³。そこで、教員に対し、社会からの尊敬、信頼、思考力、判断力、表現力などを育成する実践的指導力、困難な課題に同

僚と協働し、地域と連携する対応力を具えることを求める⁴。そして、そのためにも、今後は学び続ける存在であることが必要不可欠であるとして、「学び続ける教員像の確立」を要請する⁵。これらをふまえ、今日の教員に期待される資質、能力をつぎのように整理する⁶。

- (i) 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力（使命感や責任感、教育的愛情）
- (ii) 専門職としての高度な知識・技能
 - ・教科や教職に関する高度な専門的知識(グローバル化、情報化、特別支援教育その他の新たな課題に対応できる知識・技能を含む)
 - ・新たな学びを展開できる実践的指導力(基礎的・基本的な知識・技能の習得に加えて思考力・判断力・表現力等を育成するため、知識・技能を活用する学習活動や課題探究型の学習、協働的学びなどをデザインできる指導力)
 - ・教科指導、生徒指導、学級経営等を的確に実践できる力
- (iii) 総合的な人間力(豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力、同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力)

1-2. 「新たな学びを支える新しい教員像」を要請した2015年中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」

つぎに、2015年中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」をみることにしよう。これは、「学び続ける教員像の確立」を継続して求めつつ、さらに「新たな学びを支える新しい教員像」を打ち出す必要性を指摘した意味において、今日の教員に期待される資質、能力を探るうえで重要である。同答申は、まず急速な社会の進歩

や変化に伴い、我が国において教員の資質、能力の向上が喫緊の課題であることに触れるとともに、先輩教員から若手教員への知識、技能の伝承が困難な状況をふまえ、継続的な研修充実のための環境を整備する、また教員がこれまで以上に子どもに慕われ、保護者に敬われ、地域に信頼される存在となるべき仕組みを構築する必要があると述べる⁷。そして、教員に対し、各教科などの指導に関する専門知識を具えた教えの専門家、教科などを越えたカリキュラム・マネジメントのために必要な力、アクティブ・ラーニングの視点から学習、指導方法を改善していくために必要な力、学習評価の改善に必要な力などを具えた学びの専門家であることを求める⁸。また、多様な専門性をもつ人材との連携、分担をとおし、チームとしての学校の教育力、組織力を向上させる中心的役割を果たすためのスキルアップと、その活躍の場が提供される重要性を指摘する⁹。そして、そのためにも、今後「新たな学びを支える新しい教員像」を打ち出し、教員の養成、採用、研修の一体的改革を推し進めるべきであると主張する¹⁰。これらをふまえ、今日の教員に期待される資質、能力をつぎのように整理する¹¹。

- ◆これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。
- ◆アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。
- ◆「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

2. 地方自治体が求める教員像とその変化

では、こうした2010年代における中央教育審議会答申にみられる今日の教員に期待される資質、能力をめぐる動向を背景として、地方自治体は、これまで教員に対し、いかなる資質、能力を求めてきたのか。そして、それは、いかに変化したのか。本章においては、地方自治体が求める教員像を2010年および2019年を事例として比較、検討することにより、その答えを探っていこう。

2-1. 比較、検討の対象および方法

まず、地方自治体が求める教員像とは何か、そして比較、検討の対象および方法について言及しよう。地方自治体は、その求める教員像をHPなどにより公表している。一例として、岡山県は、つぎのような求める教員像を公表している¹²。

- ①岡山県の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教員
- ②強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教員
- ③多様な経験を積む中で協働して課題解決に当たるなど、生涯にわたって学び続ける教員

こうした教員像においては、中央教育審議会答申などに照らし、地方自治体が教員に求めるより具体的に詳細な、また独自の資質、能力が示されている。

これをふまえ、本稿においては、まず2010年を事例とするにあたり、以下の66の地方自治体が求める教員像を取り上げた¹³。1 北海道、2 青森県、3 岩手県、4 宮城県、5 秋田県、6 山形県、7 福島県、8 茨城県、9 栃木県、10 群馬県、11 埼玉県、12 千葉県、13 東京都、14 神奈川県、15 新潟県、16 富山県、17 石川県、18 福井県、19 山梨県、20 長野県、21 岐阜県、22 静岡県、23 愛知県、24 三重県、25 滋賀県、26 京都府、27 大阪府、28 兵庫県、29 奈良県、30 和歌山県、31 鳥取県、32 島根県、33 岡山県、34 広島県、35 山口県、36 徳島県、37 香川県、38 愛媛県、39 高知県、40 福岡県、41 佐賀県、42 長崎県、

43熊本県、44大分県、45宮崎県、46鹿児島県、47沖縄県、48札幌市、49仙台市、50さいたま市、51千葉県、52川崎市、53横浜市、54相模原市、55新潟市、56静岡市、57浜松市、58名古屋市、59京都市、60大阪市、61堺市、62神戸市、63岡山市、64広島市、65北九州市、66福岡市。

そして、その求める教員像のうちに含まれる資質、能力に関する文言をつぎの62のキーワードに類型化した。1 教育的愛情、2 情熱、熱意、3 意欲、やる気、4 向上心、5 学び続ける力、6 使命感、7 教育者としての誇り、8 人間性、9 心の豊かさ、10 思いやり、慈しみ、11 温かさ、優しさ、12 健康、13 倫理観、14 規範意識、15 個性、16 明朗さ、快活さ、17 専門性、18 実践力、19 授業力、20 教育者としての自覚、21 組織人性、22 公務員としての自覚、誇り、23 社会人性、24 常識、良識、25 自律心、26 教養、27 子ども好き、28 指導力、29 人権感覚、30 得意分野、31 社会性、32 子ども理解力、33 自己研鑽力、34 協調性、35 コミュニケーション能力、36 責任感、37 課題解決力、38 家庭、保護者、地域、同僚との連携力、39 人間関係構築力、40 児童との信頼関係構築力、41 郷土愛、42 創造性、43 積極性、44 体験、45 視野、46 感性、47 学級経営力、48 カウンセリングマインド、49 洞察力、50 柔軟性、51 職務遂行力、52 感謝の心、謙虚さ、素直さ、正直さ、傾聴力、53 教師としての基礎的資質、54 粘り強さ、55 子どもの良さや可能性を伸ばす力、56 生きる力を育む力、57 相手の立場を理解し、相手や場面に応じた適切な言動がとれる、58 穏健、59 特別支援教育、60 市民感覚、61 表現力、62 バランス感覚。

なお、文言とキーワードとの対応関係は、別表1に一覧化した。

つぎに2019年を事例とするにあたり、以下の67の地方自治体が求める教員像を取り上げた¹⁴。1 北海道、2 青森県、3 岩手県、4 宮城県、5 秋田県、6 山形県、7 福島県、8 茨城県、9 栃木県、10 群馬県、11 埼玉県、12 千葉県、13 東京都、14 神奈川県、15 新潟県、16 富山県、17 石川県、18 福井県、19 山梨県、20 長野県、21 岐阜県、22 静岡県、23 愛知県、24 三重県、25 滋賀県、26

京都府、27 大阪府、28 兵庫県、29 奈良県、30 和歌山県、31 鳥取県、32 島根県、33 岡山県、34 広島県、35 山口県、36 徳島県、37 香川県、38 愛媛県、39 高知県、40 福岡県、41 佐賀県、42 長崎県、43 熊本県、44 大分県、45 宮崎県、46 鹿児島県、47 沖縄県、48 札幌市、49 仙台市、50 さいたま市、51 千葉市、52 川崎市、53 横浜市、54 相模原市、55 新潟市、56 静岡市、57 浜松市、58 名古屋市、59 京都市、60 大阪市、61 堺市、62 神戸市、63 岡山市、64 広島市、65 北九州市、66 福岡市、67 熊本市。

そして、その求める教員像のうちに含まれる資質、能力に関する文言をつぎの63のキーワードに類型化した。1 教育的愛情、2 情熱、熱意、3 意欲、やる気、4 向上心、5 学び続ける力、6 使命感、7 教育者としての誇り、8 人間性、9 心の豊かさ、10 思いやり、慈しみ、11 温かさ、優しさ、12 健康、13 倫理観、14 規範意識、15 個性、16 明朗さ、快活さ、17 専門性、18 実践力、19 授業力、20 教育者としての自覚、21 組織人性、22 チーム学校の一員としての自覚、23 公務員としての自覚、誇り、24 社会人性、25 常識、良識、26 自律心、27 教養、28 子ども好き、29 指導力、30 人権感覚、31 得意分野、32 社会性、33 子ども理解力、34 自己研鑽力、35 協調性、36 コミュニケーション能力、37 責任感、38 課題解決力、39 家庭、保護者、地域、同僚との連携力、40 人間関係構築力、41 児童との信頼関係構築力、42 郷土愛、43 創造性、44 積極性、45 体験、46 視野、47 感性、48 カウンセリングマインド、49 柔軟性、50 職務遂行力、51 感謝の心、謙虚さ、素直さ、正直さ、傾聴力、52 教師としての基礎的資質、53 粘り強さ、54 法令遵守の精神、55 危機管理意識、安全教育力、56 子どもの良さや可能性を伸ばす力、57 生きる力を育む力、58 一人一人に温かく、また公平に接する、59 信念、60 誰一人悲しい思いをさせない、61 特別支援教育、62 市民感覚、63 平和教育を積極的に推進できる。

なお、文言とキーワードとの対応関係は、別表2に一覧化した。

そして、これらキーワードを対象として、出現頻度の分析を行った。頻度分析とは、文中における文字、単語、キーワードなどの頻出傾向を分析するものであ

り、その頻度が高ければ高いほどそれらの重要度が高いことを示す。その結果、2010年および2019年におけるキーワードの出現回数を上位から整理したものが表1である。

2-2. キーワードの頻度分析の結果および考察

つぎに、表1に整理された頻度分析の結果をふまえ、注目されるキーワードを抽出し、地方自治体がそうしたキーワードを求める教員像において盛り込んだ意図を探ることにしよう。

①2010年代において教員に求められ続けた不易の資質、能力

まず、表1における2010年および2019年のキーワード出現回数上位20位までを比較、検討することからはじめよう。具体的には、2010年においては「人間性」から「向上心」、2019年においては「人間性」から「明朗さ、快活さ」までのキーワードをさす。この20キーワードの出現回数は、2010年においては全キーワードの出現回数の75.4%、2019年においては76.5%を占めた。さて、表1によれば、両年における上位20キーワードがほぼ同一であることがわかる。つまり、これらキーワードは、地方自治体がこの10年間をとおして教員に求め続けたいわば不易の資質、能力であったわけである。そして、前述した中央教育審議会答申が示した教員に期待される資質、能力、たとえば「使命感や責任感、教育的愛情（2012年）」などをはじめ、「専門職としての高度な知識・技能（2012年）」、「新たな課題に対応できる力量（2015年）」などの大部分を網羅している。

さらに、両年における上位6位までのキーワードに注目するならば、両者が完全に一致していることがわかる。具体的には、「人間性」、「使命感」、「専門性」、「教育的愛情」、「情熱、熱意」、「教養」が該当する。つまり、この6キーワードが、20キーワードのなかでも、地方自治体がかつても重視する不易の資質、能力であったわけである。そして、そのうちにおいては、「専門性」、「教養」といったいわゆる専門的・技術的側面、

あるいは専門的力量に関するキーワードに比べ、「人間性」、「使命感」、「教育的愛情」、「情熱、熱意」といったいわゆる人格的側面、あるいは人間的力量に関するキーワードが多数を占めていることが特徴的である。一例として、千葉県は「人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員」¹⁵、沖縄県は「人間性豊かで、教育者としての使命感と幼児児童生徒への教育的愛情のある教員」¹⁶といった求める教員像を公表している。

また、「家庭、保護者、地域、同僚との連携力」、「倫理観」、「組織人性」にも注目される。これらキーワードは、6キーワードにはおおよばないものの、両年において20位内にあり、なおかつ2019年に至り、14位から8位、15位から11位、19位から11位へと順位をあげている。そのうち、「家庭、保護者、地域、同僚との連携力」、「組織人性」については、地方自治体が求める教員像を定めるに際し、中央教育審議会答申が示した教員に期待される資質、能力である「同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力（2012年）」、『「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力（2015年）」などをふまえた結果と考えられる。なお、本項の本題からはそれるが、「協調性」が35位から24位へと順位をあげているのも、同様の理由によるのであろう。さて、長野県は前者の例として「同僚や保護者、地域の方々と協力し、共に汗を流し行動する人」¹⁷、広島県は後者の例として「他の教職員と連携・協働し、組織的に職務を遂行できる」¹⁸といった求める教員像を公表している。

一方、「倫理観」について、中央教育審議会答申は、さきの教員に期待される資質、能力において言及していなかった。教員がこうした資質、能力を具えることは、当然であるがゆえの結果であろうか。しかし、後述するように「法令遵守の精神」が2019年に新出したのと同様、地方自治体は、近年における教員の相つぐ不祥事をふまえ、あえてこうしたキーワードを求める教員像のうちに盛り込んだのではないか。一例として、愛知県は、「高い倫理観をもち、円満で調和のと

れた人」¹⁹といった求める教員像を公表している。

②2010年代において教員に求められた喫緊の資質、能力

再び表1に目を移すならば、2010年においても認められはするものの、上位20位内には入っておらず、しかし2019年に至り、20位内へと順位をあげたキーワードも認められる。具体的には、「学び続ける」が26位から9位へ、「人権感覚」が21位から18位へ、「社会性」が21位から19位へ、「責任感」が26位から19位へと順位をあげている。なかでも、一番順位をあげた「学び続ける」は、地方自治体がこの10年間をとおしてもっとも教員に求めるようになったいわば喫緊の資質、能力であったとすることができる。これは、中央教育審議会答申が示した「教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力(2012年)」、「自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力(2015年)」などの資質、能力をふまえ、地方自治体はその求める教員像を定めた結果と考えられる。一例として、新潟県は「学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業像の実現に向けて努力する人」²⁰、富山県は「常に自らひたむきに学び続ける人」²¹といった求める教員像を公表している。

なお、これも、本項の本題からはそれるが、上位20位内には入らなかったものの、大きく順位をあげた「子どもの良さや可能性を伸ばす力」、「児童との信頼関係構築力」についても簡単に言及することにして。前者は53位から27位へ、後者は53位から30位へと順位をあげている。中央教育審議会答申は、これらキーワードについても言及していなかった。やはり教員がこうした資質、能力を具えることを当然と考えたからであろうか。しかし、それにもかかわらず、地方自治体があえてこうしたキーワードを求める教員像に盛り込んだのは、より学校現場に近く、教員のそうした資質、能力の欠如を痛感した結果によるのではないか。一例として、東京都は前者について「子供のよさや可能性

を引き出し伸ばすことができる教師」²²、熊本県は後者について「児童生徒との信頼関係を培い、一人一人の個性やよさをしっかりと見つめ、自分に対する自信と他者に対する思いやりの心を育む教職員」²³といった求める教員像を公表している。

③2010年代において新たに教員に求められた資質、能力

さらに表1を詳細にみるならば、2019年において新出したキーワードも認められる。なかでも、「法令遵守の精神」、「危機管理意識、安全教育力」には注目される。中央教育審議会答申は、こうしたキーワードについても言及していなかった。しかし、前述したように地方自治体は、近年における教員の相つぐ不祥事、また児童などが犠牲となる事件、事故、災害を背景として、それへの危機意識をこうしたキーワードとして具現化し、とくに求める教員像において盛り込んだと考えられる。一例として、福岡市は、「社会性を備え、法令を遵守しながら体罰や飲酒運転等の不祥事を根絶できる教員」²⁴、「危機管理意識を持ち、子どもの生命や身体の安全を確保できる教員」²⁵といった求める教員像を公表している。

おわりに

以上、本稿は、「教員に求められる資質、能力は、時間の経過とともにいかに変化したのか」という視点をもって、地方自治体が求める教員像を2010年および2019年を事例として比較、検討することにより、今日の教員に求められる資質、能力を探ってきた。

それに際し、まず2010年代における「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」および「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」という二つの中央教育審議会答申に注目し、今日の教員に期待される資質、能力をめぐる動向を概観した。前者は「学び続ける教員像の確立」を求めたという意味において、後者はそれを継続して求めつつ、さらに「新たな学びを支える

新しい教員像」を打ち出す必要性を指摘した意味において、今日の教員に期待される資質、能力を探るうえで重要な位置を占めた。

つぎに、こうした中央教育審議会の動向をふまえ、2010年および2019年における地方自治体が求める教員像のうちに含まれる資質、能力に関する文言をキーワードに類型化し、その頻度分析を行った。そして、その結果を改めて①2010年代において教員に求められ続けた不易の資質、能力、②2010年代において教員に求められた喫緊の資質、能力、③2010年代において新たに教員に求められた資質、能力としてグループ化した。

はじめに、①についてである。これによれば、両年における上位20位のキーワードがほぼ同一であることが明らかとなった。これらキーワードは、地方自治体がこの10年間をとおして教員に求め続けたいわば不易の資質、能力であった。なかでも6キーワードは、完全に一致した。これに照らすならば、この6キーワードこそが、20キーワードのなかでも、地方自治体がかつとも重視する不易の資質、能力であった。具体的には、「人間性」、「使命感」、「専門性」、「教育的愛情」、「情熱、熱意」、「教養」が該当する。また、「家庭、保護者、地域、同僚との連携力」、「倫理観」、「組織人性」も両年において20位内にあり、なおかつ2019年において順位をあげた注目すべきキーワードであることが明らかとなった。これは、地方自治体が求める教員像を定めるにあたり、中央教育審議会答申が示した教員に期待される資質、能力をふまえた結果と考えられる。

つづいて、②についてである。これによれば、「学び続ける」、「人権感覚」、「社会性」、「責任感」が2010年においても認められはするものの、上位20位内には入っておらず、しかし2019年に至り、20位内へと順位をあげた注目すべきキーワードであることが明らかとなった。なかでも、一番順位をあげた「学び続ける」は、地方自治体がこの10年間をとおしてもっとも教員に求めるようになったいわば喫緊の資質、能力であった。これも、地方自治体が求める教員像を定めるにあたり、中央教育審議会答申が示した教員に期待される

資質、能力をふまえた結果と考えられる。なお、上位20位内には入らなかったものの、大きく順位をあげた「子どもの良さや可能性を伸ばす力」、「児童との信頼関係構築力」も注目すべきキーワードであることが明らかとなった。中央教育審議会答申はこれらキーワードに言及してはいなかったものの、より学校現場に近い位置にある地方自治体は教員のそうした資質、能力の欠如を痛感し、あえてこうしたキーワードを求める教員像に盛り込んだのではない。

そして、③についてである。これによれば、「法令遵守の精神」、「危機管理意識、安全教育力」が2019年に新出した注目すべきキーワードであることが明らかとなった。こうしたキーワードについても、中央教育審議会答申は、言及していなかった。しかし、地方自治体は近年における教員の相つぐ不祥事、また児童などが犠牲となる事件、事故、災害を背景として、こうしたキーワードをとくに求める教員像において盛り込んだと考えられる。

註

- 1 中央教育審議会「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」2012年、1頁。
- 2 同前。
- 3 同前、1－2頁。
- 4 同前、2頁。
- 5 同前。
- 6 同前、2－3頁。
- 7 中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」2015年、2－4頁。
- 8 同前、6頁。
- 9 同前。
- 10 同前、8頁。
- 11 同前、9頁。
- 12 「自治体別試験DATA&分析① 岡山県」(『教職課程』2019年10月号) 84頁。
- 13 文部科学省「都道府県・指定都市教育委員会が求

- める教員像」、2011年 (https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo11/001/shiryo/_icsFiles/fieldfile/2011/09/26/1309293_04.pdf、2020年10月25日確認)。
- 14 「自治体別試験DATA&分析① 北海道」、前掲註12、66頁。
- 15 「自治体別試験DATA&分析① 千葉県」、同前、78頁。
- 16 「自治体別試験DATA&分析③ 沖縄県」(『教職課程』2019年12月号) 74頁。
- 17 「自治体別試験DATA&分析② 長野県」(『教職課程』2019年11月号) 64頁。
- 18 「自治体別試験DATA&分析② 広島県」、同前、70頁。
- 19 「自治体別試験DATA&分析② 愛知県」、同前、66頁。
- 20 「自治体別試験DATA&分析③ 新潟県」、前掲註16、58頁。
- 21 「自治体別試験DATA&分析⑤ 富山県」(『教職課程』2020年2月号) 64頁。
- 22 「自治体別試験DATA&分析① 東京都」、前掲註12、80頁。
- 23 「自治体別試験DATA&分析③ 熊本県」、前掲註16、68頁。
- 24 福岡市教育委員会「令和3年度福岡市立学校教員採用候補者選考試験について」、2020年 (<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/kyoshokuin/ed/kyouinn01.html>、2020年10月25日確認)。
- 25 同前。

表1 2010年および2019年におけるキーワード出現回数

2010年		2019年	
キーワード	出現回数(順位)	キーワード	出現回数(順位)
人間性	58 (1)	人間性	50 (1)
使命感	52 (2)	使命感	50 (1)
専門性	45 (3)	専門性	45 (3)
教育的愛情	36 (4)	教育的愛情	39 (4)
情熱、熱意	36 (4)	情熱、熱意	31 (5)
教養	30 (6)	教養	24 (6)
健康	24 (7)	指導力	23 (7)
指導力	22 (8)	家庭、保護者、地域、同僚との連携力	22 (8)
実践力	21 (9)	課題解決力	20 (9)
意欲、やる気	19 (10)	学び続ける力	20 (9)
明朗さ、快活さ	18 (11)	実践力	19 (11)
課題解決力	17 (12)	組織人性	19 (11)
子ども理解力	16 (13)	倫理観	19 (11)
家庭、保護者、地域、同僚との連携力	15 (14)	子ども理解力	15 (14)
授業力	13 (15)	意欲、やる気	14 (15)
倫理観	13 (15)	健康	14 (15)
カウンセリングマインド	12 (17)	向上心	14 (15)
社会人性	12 (17)	人権感覚	13 (18)
組織人性	11 (19)	社会人性	11 (19)
向上心	10 (20)	社会性	11 (19)
社会性	9 (21)	責任感	11 (19)
人権感覚	9 (21)	明朗さ、快活さ	11 (19)
得意分野	9 (21)	カウンセリングマインド	10 (23)
コミュニケーション能力	7 (24)	コミュニケーション能力	9 (24)
積極性	7 (24)	協調性	9 (24)
学び続ける力	6 (26)	授業力	9 (24)
感謝の心、謙虚さ、素直さ、正直さ、傾聴力	6 (26)	子どもの良さや可能性を伸ばす力	8 (27)
郷土愛	6 (26)	視野	8 (27)
責任感	6 (26)	教育者としての誇り	7 (29)
創造性	6 (26)	感謝の心、謙虚さ、素直さ、正直さ、傾聴力	6 (30)
学級経営力	5 (31)	児童との信頼関係構築力	6 (30)
教育者としての自覚	5 (31)	自己研鑽力	5 (32)
子ども好き	5 (31)	積極性	5 (32)
自己研鑽力	5 (31)	創造性	5 (32)
温かさ、優しさ	4 (35)	教育者としての自覚	4 (35)
協調性	4 (35)	教師としての基礎的資質	4 (35)
教育者としての誇り	4 (35)	郷土愛	4 (35)
教師としての基礎的資質	4 (35)	体験	4 (35)
個性	4 (35)	法令遵守の精神	4 (35)
思いやり、慈しみ	4 (35)	チーム学校の一員としての自覚	3 (40)
視野	4 (35)	個性	3 (40)
常識、良識	4 (35)	子ども好き	3 (40)
感性	3 (43)	職務遂行力	3 (40)
職務遂行力	3 (43)	心の豊かさ	3 (40)
人間関係構築力	3 (43)	生きる力を育む力	3 (40)
体験	3 (43)	粘り強さ	3 (40)
自律心	2 (47)	感性	2 (47)
柔軟性	2 (47)	危機管理意識、安全教育力	2 (47)
心の豊かさ	2 (47)	思いやり、慈しみ	2 (47)
生きる力を育む力	2 (47)	自律心	2 (47)
洞察力	2 (47)	柔軟性	2 (47)
粘り強さ	2 (47)	常識、良識	2 (47)
バランス感覚	1 (53)	人間関係構築力	2 (47)
穏健	1 (53)	一人一人に温かく、また公平に接する	1 (54)
規範意識	1 (53)	温かさ、優しさ	1 (54)
公務員としての自覚、誇り	1 (53)	規範意識	1 (54)
子どもの良さや可能性を伸ばす力	1 (53)	公務員としての自覚、誇り	1 (54)
市民感覚	1 (53)	市民感覚	1 (54)
児童との信頼関係構築力	1 (53)	信念	1 (54)
相手の立場を理解し、相手や場面に応じた適切な言動がとれる	1 (53)	誰一人悲しい思いをさせない	1 (54)
特別支援教育	1 (53)	得意分野	1 (54)
表現力	1 (53)	特別支援教育	1 (54)
		平和教育	1 (54)

別表1 2010年、地方自治体の求める教員像における
資質、能力に関する文言とキーワードの対応
関係

(教育的愛情) 子どもに対する深い愛情、児童生徒に対する深い教育的愛情、児童生徒に対する愛情、幼児児童生徒に対する教育的愛情、児童生徒に対する深い教育愛、子どもに対する教育的愛情、児童生徒に対する教育的愛情、教育愛、子どもたちに対する深い愛情、子どもへの愛情、児童生徒に愛情、子どもに対する愛情、児童生徒への教育的愛情、愛情、教育的愛情、子どもに対する広く深い愛情、児童生徒への深い愛情、子どもたちへの限りない愛情

(情熱、熱意) 教育への情熱、教育に対する情熱、情熱、教育に対する熱意、教育者としての情熱、教職への強い情熱、教職に対する熱い情熱、教育への熱い情熱、目の前のことと向き合って、これらの力を向上させようとする情熱、未来を担う子どもたちに、夢や希望、生きる力を与える教育に情熱をそそげる、教育に燃える熱意、児童生徒のために情熱をもって教育実践に取り組む、教育に対する情熱、子どもたちの夢を膨らませ、その実現に熱中して行動する、教育実践にゆめと情熱をもち続ける

(意欲、やる気) 意欲、やる気、困難にへこたれず果敢にチャレンジする、行動力、同僚や保護者などと協力し、共に汗を流す意欲、実行力、向上への意欲、自ら学ぶ意欲、新たなものに積極的に挑戦する意欲、気概、子どもたちの明日のために、協働し、へこたれない心、困難にも立ち向かえる、教育への意欲

(向上心) 児童生徒と教師が共に学び、共に伸びることができる、互いに高め合う、向上心、常に向上しようとする、様々な子どもたちを受け止め、子どもたちに寄り添い、温かく励まし見守りながら、共に成長していくことができる、研究と創意工夫を惜しまず、子どもとともに遊びともに学ぼうとする、絶えず自らの資質や能力の向上に努める

(学び続ける力) 学び続ける、常に自らひたむきに学び続ける、常に学び続ける向上心、常に学び続ける、一生学び続けるという姿勢

(使命感) 教育者としての使命感、教員としての使命感、教育者として使命感、使命感、教育に対する使命感、教職に対する使命感、教師としての強い使命感、教師の仕事に対する使命感、教育者としての高い使命感、教育者としての強い使命感、使命感を持ち実行する力、教えて探究心を引き出すプロとしての高い使命感、教育に対する強い使命感

(教育者としての誇り) 教職に対する誇り、未来を担う子どもたちを育成しているという誇り、誇り、教育者としての誇り

(人間性) 人間性、人間的な魅力、人間的なあたたかみ、人格的資質、人間的な魅力、円熟で調和のとれた、総合的な人間力、子どもにとって魅力のある、子どもが憧れる人間的な魅力、子どもの人格形成にかかわる、大人としての豊かな人間性、人間力、人間味、児童生徒や保護者に対して、人間味あるかわりができる、児童生徒をひきつけ、知徳体のバランス

(心の豊かさ) 心豊か、豊かな心

(思いやり、慈しみ) 思いやり、慈しみの心、思いやりの心

(温かさ、優しさ) 温かみ、子どもの心をよく分かろうとする温かみ、子どもたちへの優しさ、子どもを包み込む温かさ、優しさ

(健康) 心身の健康、心身ともに健康、健康、心身ともに健やか、たくましく、心身のたくましさ、体力、たくましい、たくましさ、健康な体

(倫理観) 倫理観、倫理性

(規範意識) 規範意識

(個性) 個性

(明朗さ、快活さ) 明るく、活力、明朗、快活、明るさ、明朗、明朗活発

(専門性) 教科等に関する専門的知識、教科等に優れた専門性、技能、教えるプロとしての深い専門性、専門的知識、専門性、教科に関する専門的な知識、技能、専門的な知識技能、学習指導の専門性、教えるプロとして豊かな知識、教科の専門的な知識技能、実践的な専門性、専門知識と技能、専門的知識技能、専門知識、学習指導に高い専門性、教科等に関する専門的な知識

技能、職務にかかわる専門的知識技能及び態度、教科指導生徒指導等の知識技能、専門的な知識や技能、教育の専門家としての確かな力量、教科等の専門的知識技能、教育の専門家として確かな力量、子どもに学ぶ楽しさを教える専門的知識技能、専門的な知識、教育専門家として確かな力量（実践力）学校の教育力を構成する実践力、実践力、実践的指導力、子どもが自ら取り組むわかりやすい授業を實踐できる、実践的な指導、実践的な指導力、実践的な態度、学習の実践的指導力、教育実践（授業力）わかりやすい授業ができ、児童生徒に確かな学力をつけることができる、授業力、わかりやすい学習活動が展開できる、子どもたちに楽しくよく分かる授業をしようとする、わかりやすく楽しい授業のできる、児童生徒に確かな学力をつけることができる、楽しくわかりやすい授業を創造し、よくわかる授業をする、授業を構想し展開する力、教材研究がきちんとできる、児童生徒に力をつける授業が展開できる（教育者としての自覚）教育の専門家としての自覚、責任の自覚、自覚、自らの役割を自覚（組織人性）組織の一員としての自覚、学校を支える力、学校の組織の一員として学校経営に積極的に参画することができる、組織人としての責任感、組織の構成員としての自覚、他の教職員と連携協働し、組織的に職務を遂行できる、他の教職員と連携協力しながら、学級組織の一員としての教育活動にあたることのできる、組織マネジメント力（公務員としての自覚、誇り）公務員として自覚（社会人性）社会人として、社会人として優れた識見、社会人として適切な言動をとることができる、社会人としての良識、自立した社会人として、識見、社会人としての豊かな教養、社会人としての資質、社会の一員として自立した、社会人としての幅広い教養と良識、社会人としての常識（常識、良識）良識、社会的良識、常識（自律心）自律心、主体的自律的に教育活動に当たる姿勢（教養）教養、教職教養

（子ども好き）子どもが好き、子どもが大好き（指導力）指導力、生徒指導力、子どもとともに積極的に教育活動のできる指導力、児童生徒に興味のあるわかりやすい指導ができる、専門的指導力、専門的知識技能に裏打ちされた指導力、確かな学力豊かな心健やかな体などをはぐくむ、個に応じたきめ細やかな指導、創造性を伸ばす教育に積極的に取り組む、教科等の指導、教科指導力、児童生徒指導力、集団指導力、きびしさの中にも深い愛情のある指導力、教科生徒指導力、教科等の指導力、生徒指導能力（人権感覚）人権尊重の精神、子どもの人格と個性を尊重した指導ができる、人権感覚、人権意識、人権尊重の精神、人権を尊重（得意分野）得意分野、得意、実践的英語力、競技力（社会性）社会性（子ども理解力）子ども理解、人間の成長発達について深い理解、子どもとともに考え、子どもの気持ちを理解できる、児童生徒理解、児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受けとめ、支援できる、児童生徒に対する深い理解、人間理解、子どもの心身の発達と心の動きに対する理解、児童生徒を共感的に理解し、子どもの理解力、子供を理解し指導する力（自己研鑽力）自己研鑽力、自らの役割を自覚し日々研鑽に努める態度、自己研鑽に努める意欲、自己の研鑽、時代の変化を敏感に感じ取り、常に自己研鑽に努める、日々研鑽に努める態度（協調性）協調性（コミュニケーション能力）コミュニケーション、コミュニケーション能力、コミュニケーションができる（責任感）責任感、教育者としての責任感（課題解決力）子どもや社会の変化による課題を把握し解決できる、社会の変化や様々な課題に積極的に対応できる、課題解決能力、課題解決に向けた柔軟な発想と対応能力、社会の変化に適応する能力、変化の時代を生き抜くために必要な課題解決能力、多様化複雑化している教育課題に適切に対応できる資質、社会や子どもの変化に柔軟に対応できる、社会の変化に柔軟に対応でき、課題解決に向けて、自ら考え、自ら行動

できる創造力、課題解決力、国際化情報化社会に対応できる、対応力

(家庭、保護者、地域、同僚との連携力) 協働してよりよい学校や地域社会を築こうとする、職員、保護者、地域の人々と協力し合い、よりよい学校や地域社会を築こうとする、保護者、職員、地域の方々と円滑な人間関係が築ける、子どもや保護者との間に深い信頼関係が築ける、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域の人から信頼される、保護者や地域の人々と相互連携を深めながら、信頼関係を築き、学校教育を通して家庭や地域に働きかけ、その思いを受け入れていく、子どもたちはもちろん保護者や地域の人々から寄せられる期待や信頼に応えられる、地域社会との連携が進められる、家庭や地域とのつながりを大切に、子どもの気持ちを受けとめ、子どもの育ちと学びをともに支えてくれる、子どもを取りまく人との関係構築、家庭地域社会との連携を推進する力、保護者地域住民との連携、子どもや保護者、地域から信頼される、保護者や地域住民との良好な人間関係を築く能力

(人間関係構築力) 円滑な人間関係が築ける、対人関係能力、人とつながる人間関係調整力

(児童との信頼関係構築力) 児童生徒との信頼関係が築ける

(郷土愛) ふるさと京都への理解と愛情、和歌山を愛し、ふるさとを愛する心、郷土に誇り、沖縄県の自然、歴史、文化に誇り、横浜を愛する

(創造性) 創造性

(積極性) 積極的、積極性、チャレンジ精神、新しく進むことに前向きに取り組むことができる

(体験) 体験、豊かな体験と幅広い教養を身につけようとする姿勢

(視野) 視野、国際的な視点

(感性) 感性

(学級経営力) 児童生徒の気持ちや資質能力を的確にとらえ、そのよさを生かしながら学級経営を進めることができる、学級づくりの力、温かい学級づくりのできる、健全な集団づくりができる、学級経営能力

(カウンセリングマインド) 一人ひとりの児童生徒と

真剣に向き合うことができる、児童生徒の立場に立って支援できる、一人一人の子どもと真剣に向き合うことのできる、子どもとともに課題に取り組む、子どもと共感でき、子どもに積極的に心を開いていくことができる、子どもたちが自分なりの生き方を見つけられるよう支援する、子どもとともに未来を切りひらく、子どもと一緒に考え行動することができる、子どもに適切なアドバイスを与えることができる、子どもに生き方を教えることができる、子どもたちの心に寄り添い、共感できる、カウンセリングマインド

(洞察力) 洞察力

(柔軟性) 柔軟性

(職務遂行力) 職責を果たすことができる、的確に職務を遂行できる

(感謝の心、謙虚さ、素直さ、正直さ、傾聴力) 感謝の心、ありがとうを大切に、常に児童生徒から学ぼうとする、周りの声に耳を傾け素直に反省する、子どもの前で正直になれる、子どもの話にきちんと耳を傾けることができる

(教師としての基礎的資質) 資質能力、教員としての資質能力適性、教育者としての資質能力

(粘り強さ) 忍耐強く児童生徒を指導できる、粘り強く取り組む

(子どもの良さや可能性を伸ばす力) 子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる

(生きる力を育む力) 自立的に生きる力を培う、困難にくじけずたくましく生きる力をはぐくむ

(その他) 相手の立場を理解し、相手や場面に応じた適切な言動がとれる、穏健、特別支援教育、市民感覚、表現力、バランス感覚

別表2 2019年、地方自治体の求める教員像における資質、能力に関する文言とキーワードの対応関係

(教育的愛情) 子どもへの深い教育的愛情、児童生徒に対する深い教育的愛情、児童生徒に対する愛情、教育的愛情、児童生徒の心身の状況を踏まえ、受容的共感的に理解ができる教育的愛情、児童生徒への深い教

育愛、教育愛、児童生徒への愛情、児童生徒に対する教育的愛情、愛情、子どもに対する教育的愛情、児童生徒に愛情、子どもに対する愛情、子どもたちに対する愛情、教育に対する愛情、子どもに対する広く深い愛情、幼児児童生徒への教育的愛情、子どもへの愛情、教育的な愛情

(情熱、熱意) 教育への情熱、教育に対する情熱、情熱、教育に対する熱意、教職への情熱、子どもと共に感動を分かち合い、情熱を持って夢を語る、教育に燃える熱意、子どもたちの夢を膨らませ、その実現に熱中して行動する、教職に対する情熱、教育に夢と希望をもち

(意欲、やる気) 意欲、やる気、困難にへこたれず果敢にチャレンジする、実行力、行動力、挑戦する力、新たなものに積極的に挑戦する意欲、チャレンジ精神、気概、困難にも立ち向かえる、教育への意欲

(向上心) 探究力、自らを向上させる姿勢、互いに高め合う、向上心、常に向上し続けようとする、探求の学びや、校外での様々な活動に対して、積極的に取り組むことのできる、探究心、自立的に学ぶ姿勢、子どもとともに遊び、ともに学ぼうとする、自らも成長していくことができる

(学び続ける力) 常に学び続ける探究力、常に学び、常に学び続ける、学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業像の実現に向けて努力する、常に自らひたむきに学び続ける、常に学び続ける向上心、生涯にわたって主体的に学び続ける、自らひたむきに学び続け、生涯にわたって学び続ける、学び続ける姿勢、絶えず学び続け、自らの資質能力を高める、学び続ける、自主的に学び続ける力

(使命感) 教育者として、強い使命感、教育者としての使命感、教員としての使命感、教育者としての強い使命感、使命感、教育に対する強い使命感、職務に対する使命感、教育に対する使命感、教職に対する強い使命感、教師の仕事に対する使命感、教師としての強い使命感、教職員としての使命感、教育への使命感

(教育者としての誇り) 教職への誇り、誇り、教職に対する誇り、未来を担う子どもたちを育成していると

いう誇り

(人間性) 人間性、人格的資質、円満で調和のとれた、総合的な人間力、人間的魅力、人間力、組織力を活用できる総合的な人間力、人間味、児童生徒や保護者、同僚から信頼される人間的の魅力、知徳体のバランス

(心の豊かさ) 心豊か、豊かな心、心の豊かさ

(思いやり、慈しみ) 思いやり、慈しみの心

(温かさ、優しさ) 子どもを包み込む温かさ、優しさ

(健康) 心身の健康、たくましく、心身ともに健康、健康、心身のたくましさ、たくましさ、心身ともに健康やか、健康的な体

(倫理観) 倫理観

(規範意識) 規範意識

(個性) 個性

(明朗さ、快活さ) 明るく、活力、明朗、快活、明るさ、明朗、明朗活発

(専門性) 実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む、教育の専門家として、教科等に関する深い専門的知識、教科等指導の専門的知識、専門性、教育者としての深い専門性、専門的な知識技能、専門的知識、校種教科等に関する高い専門的知識と技能、教科等の専門的な知識技能、学習指導、生徒指導に関する専門的知識や技能、専門的知識技能、実践的な専門性、専門知識、学習指導に高い専門性、教科等に関する専門的な知識技能、職務にかかわる専門的知識技能及び態度、専門職としての高度な知識や技能、専門力、教育に関する専門的知識技能、実践的な専門性、子どもに学ぶ楽しさを教える専門的な知識技能、子どもの知徳体のバランスのとれた力を向上できる専門的な知識技能、専門職としての高度な知識技能、専門的な知識

(実践力) 学校の教育力を構成する実践力、実践力、実践的指導力、子どもが自ら取り組む、わかりやすい授業の実践ができる、実践的な指導ができ、実践的な指導力、常に新しい知識を求め、実践に生かす、学習の実践的指導力、確実に実践できる力、学びの実践的指導力

(授業力) 分かりやすい授業ができ、児童生徒に確か

な学力をつけることができる、授業力、分かりやすい授業を行い、子どもに確かな学力を育成する、わかる授業ができ、児童生徒ができるようになる指導ができる、教材研究がきちんとできる、子ども一人ひとりがもっと学びたいもっと知りたいと感じる授業を目指し（教育者としての自覚）教育の専門家としての自覚、責任の自覚、自らの言動が児童生徒の人格形成に大きな影響を与えることを自覚し、自覚（組織人性）組織の一員としての自覚、学校を支える力、人とのつながりを大切に、よりよい学校を築こうとする、組織の一員としての責任感、組織人としての責任感、コミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する、組織の一員として関係者と協力して職責を果たし、組織の構成員としての自覚、他の教職員と連携協働し、組織的に職務を遂行できる、連携協働しながら学校運営に積極的に参画する、互いに情報を共有し、協力し合って組織的に課題に対応する、学校組織の一員として考え行動する、組織マネジメント力、組織の一員として責任感、互いに高めあい協働する（チーム学校の一員としての自覚）チーム学校の一員として、ともに教育を創造する、学校のチーム力を向上させる、チームで対応できる力（公務員としての自覚、誇り）教育公務員としての誇り（社会人性）社会人として、社会人としての優れた識見、自立した社会人としての良識、社会人として規律を遵守する、自立した社会人として、社会人としての良識、識見、社会人、社会人としての幅広い教養と良識（常識、良識）良識、常識（自律心）自律心、主体的自律的に教育活動に当たる姿勢（教養）教養、専門分野に偏らない幅広い教養（子ども好き）子どもが好き（指導力）指導力、生徒指導力、子どもとともに積極的に教育活動のできる指導力、指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける、子どもの人格と個性を

尊重した指導ができる、専門的指導力、専門的知識技能に裏打ちされた指導力、確かな学力豊かな心健やかな体などを育むために、個に応じたきめ細かな指導により自立的に生きる力を培うとともに、創造性を伸ばす教育に積極的に取り組む、教科等の指導、教科指導力、集団指導力、基礎基本を習得させるための徹底した指導と児童生徒が自ら学び自ら考える力を身に付ける学習を着実に展開し、確かな学力を育む、指導力向上に努める、きびしさの中にも深い愛情のある指導力、教育専門職としての指導力、子どもの学ぶ意欲と学力を高める学習指導ができる、子ども理解に基づいたあたたかい生徒指導ができる

（人権感覚）人権を尊重、人権感覚、人権意識、人権尊重の精神

（得意分野）得意分野

（社会性）社会性

（子ども理解力）共感的理解、子どもとともに考え、子どもの気持ちを理解できる、児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受けとめ、支援できる、子どもを理解しようとする、人間の成長、発達について深い理解、児童生徒一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気づくことができる力、児童生徒に対する深い理解、人間理解、子どもの心身の発達と心の動きに対する理解と対応、子ども理解、児童生徒を共感的に理解し、児童生徒に対する理解力、児童生徒理解

（自己研鑽力）自己研鑽力、自己研鑽に努め、常に自己研鑽に努める意欲、広く研修に努め、その実現のため自己研鑽に努める

（協調性）協調性、他者と協調できる

（コミュニケーション能力）コミュニケーション能力、コミュニケーションができる

（責任感）責任感、教育者としての責任感、責任、教職に対する強い責任感

（課題解決力）課題解決力、子どもや社会の変化による課題の把握と解決できる、課題に対して臨機応変に対応できる、柔軟に対応することができる、課題解決能力、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて

求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、挑戦することができる力、展望する力、次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で次代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる力、課題解決に向けた柔軟な発想と対応能力、社会の変化に適応する能力、教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる、多様な経験を積む中で協働して課題解決に当たる、社会や子どもの変化に柔軟に対応できる、社会変化や教育課題に適切に対応できる、時代の変化から生じる新しい課題にも積極的に対応する、未知の課題に立ち向かう、対応力、社会の変化や新しい教育課題に柔軟に対応できる、培ってきた知識、技能、同僚性のある教育環境の土壌に立ち、常に視野を広げ、新しいことに挑戦する姿勢、社会の変化に対応して課題を解決できる

(家庭、保護者、地域、同僚との連携力) 学校づくりを担う一員として、地域等とも連携協働しながら、課題解決に取り組む、児童生徒、保護者、地域住民から信頼される、子どもたちはもとより、同僚や保護者、地域社会と円滑な人間関係を築き、子どもや保護者の思いに共感できる、同僚や保護者、地域の方々と協力し、共に汗を流し行動する、子どもや保護者との間に深い信頼関係が築ける、保護者や地域の人々と相互連携を深めながら、信頼関係を築き、学校教育を通して家庭や地域に働きかけ、その思いを受け入れていく、子どもたちはもちろん保護者や地域の人々から寄せられる期待や信頼に応えられる、地域社会との連携が進められる、家庭や地域とのつながりを大切にして、子どもの気持ちを受けとめ、子どもの育ちと学びをともに支えてくれる、子どもをとりまく人との関係構築、保護者地域住民との連携、保護者地域住民の大きな期待があることを自覚し、保護者や地域住民と情報を共有し、またそのニーズの把握に努め、互いの信頼関係の中で課題解決に当たる、児童生徒保護者地域同僚との関わりを大切にし続ける、保護者地域の声に耳を傾け、良好な人間関係を築き、的確な判断のもと協働的に関わる、子どもの願いや悩みに真剣に向き合い、家庭地域仲間と共に、その実現解決に努める、地域や社

会の多様な組織等と連携協働できる力、学校家庭地域が一体となった教育を積極的に推進できる、地域への深い理解、同僚や保護者地域等と協働しながら教育活動を推進できる、保護者や地域の人々に信頼される

(人間関係構築力) 人間関係形成力、人とつながる人間関係調整力

(児童との信頼関係構築力) 信頼される、児童生徒との信頼関係が築ける、児童生徒との信頼関係を培い、一人一人の個性やよさをしっかりと見つめ、自分に対する自信と他者に対する思いやりの心を育む、子どもとの信頼関係を築くことができる、子どもたちから信頼される

(郷土愛) 郷土を愛する心、和歌山県を愛し、ふるさとを愛する心、沖縄県の自然、歴史及び文化に誇りを持ち

(創造性) 創造性、子どもとともに課題に取り組む創造性、創造力、子どもの主体的な学びを創造する

(積極性) 積極的、積極性、子どもが好きで、子どもと共感でき、子どもに積極的に心を開いていくことができる

(体験) 体験

(視野) 視野、多様性を受容し、グローバルな視点

(感性) 気づく力、少人数教育の良さを深く理解し、推進する感性

(カウンセリングマインド) 一人ひとりの児童生徒と真剣に向き合うことができる、子どもたちが自分なりの生き方を見つけられるよう支援する、子供とともに未来を切りひらく、子どもによりそい、豊かな成長を支える、子どもと一緒に考え行動することができる、子どもに適切なアドバイスを与えることができる、子どもに生き方を教えることができる、子どもたちの心に寄り添い、共感できる、カウンセリングマインド、児童生徒に寄り添う姿勢

(柔軟性) 柔軟性

(職務遂行力) 責任をもって自らの職務を果たす、的確に職務を遂行できる、誠実かつ公正に職務を遂行する

(感謝の心、謙虚さ、素直さ、正直さ、傾聴力) 周り

の声に耳を傾け率直に反省する、愛顔にあふれ、あいさつを大切に、仕事にも人にも誠実に向き合う、謙虚に、より優れたものを目指し、他人の意見を謙虚に受け止め、子どもの話にきちんと耳を傾けることができる

(教師としての基礎的資質) 教員としての資質能力適性、教育者としての資質能力、素養と資質、教師としての基礎力

(粘り強さ) 粘り強さ、粘り強く取り組む、粘り強く教育活動に取り組む

(法令遵守の精神) 法令を遵守する、法令や服務規律を遵守し、厳しく自らを律しつつ、法令等を遵守し、法令を遵守しながら体罰や飲酒運転等の不祥事を根絶できる

(危機管理意識、安全教育力) 危機管理意識、子どもの生命や身体の安全を確保できる

(子どもの良さや可能性を伸ばす力) 子どものよさや可能性を引き出し伸ばすことができる、伸ばす力、児童生徒一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる力、常に児童生徒のよりよい成長を目指し、自分らしさを大切にする子供を育てる、一人一人の可能性を引き出す、子どもが安心して成長できる安全な社会 学校園家庭地域の実現、自立に向かって成長する子どもの育成を推進する

(生きる力を育む力) 困難にくじけずたくましく生きる力をはぐくむ、夢と希望を持ち続ける子供これからの社会を生き抜くために資質や能力を育む、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力体力の向上に貢献できる

(その他) 一人一人に温かく、また公平に接する、信念、誰一人悲しい思いをさせない、特別支援教育、市民感覚、平和教育を積極的に推進できる